

低線量肺がん CT 検診に関する説明書・同意書

- 1) 低線量肺がん CT 検診とは、一般診療で使用する X 線量の半分以下で肺を撮影し、肺がんの可能性のある所見を検出する画像検査です。
- 2) この検診で考えられる利益は以下です。
 - ・肺がんが早期に発見され、肺がんによる死亡を免れる可能性があります。
 - ・死亡を免れるには至らなくても、有効な治療を受ける機会が増し、生存期間の延長が得られる可能性があります。
 - ・肺がん以外の疾患(肺気腫など)や肺以外の疾患(縦隔腫瘍など)が発見され、早期治療に結び付く可能性があります。
- 3) この検診で考えられる不利益は以下です。
 - ・異常が見つかったとしても、結果的に肺がんでないこともあります。偽陽性による経済的・精神的・時間的損害を生じる可能性があります。また、検診後に肺がんか否か診断するために、生検などの精密検査や定期的な経過観察が必要となる場合があります。
 - ・精密検査過程における合併症の可能性や気管支鏡などの検査費用が発生します。
 - ・低線量と言っても放射線被ばくがあります。しかし、この検診を受けたことにより、新たに癌が発生したという報告はありません。
- 4) 以下の方は受けられません。
 - (女性の方)妊娠中または妊娠の可能性のある方
 - 除細動器が埋め込まれている方
 - ペースメーカーが埋め込まれている方は、その機種によって受けられない場合があります。
- 5) その他、ご理解いただきたい注意事項
 - ・肺がんが必ず早期に見つかるというわけではありません。肺門部肺がんや、数ヶ月で急速に大きくなる悪性度の高いがんでは、CT 検診といえども、早期に発見する事が困難な場合があります。また、小さなサイズのうちに発見できても、すでに転移を来しているような悪性度の高いがんもあります。
- 6) 不明点があった場合のお問い合わせ： 奥州市総合水沢病院 健診センター(0197-25-3833)にお問い合わせください。

* 本書は、肺がん検診ガイドラインおよび肺がん CT 検診認定機構から発出されている情報を基に作成しました。

同 意 書

奥州市総合水沢病院 院長殿

私は以上の説明を読み充分理解した上で、低線量肺がん CT 検診を受けることに同意します。

20 年 月 日

同意者氏名(署名)

(受検者との関係)